

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) ご自身について支給要件照会をハローワークに行なうことができます。

(ご自身でハローワークに出向き支給要件照会票を提出する)

(2) 専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料（最大3年分）に限られます。施設整備費は含まれません。受講に伴う教科書、ユニフォーム代、国家試験受験料及び受験の準備に伴うカリキュラム外の講座費、補助教材費類、再・追試験料、交通費、パソコン代等の機材費は含まれません。

(3) 各種奨学金を受けている場合はハローワーク及び本校に申し出てください。給付金から差し引かれることがあります。なお、当該教育訓練経費に係る領収書は申請のつどあらためて発行いたします。

(4) 専門実践教育訓練支援給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了を証明する書類を所定期間内（一か月以内）にハローワークに提出することにより支給されるものです。このため本人以外の者が受講した場合や修了できなかった場合は支給されません。授業以外の学校行事への参加は支援給付金対象の受講日とはなりません。支給申請はハローワークに自身が出向かなければなりません。

(5) 成績不良により所定期間内に修了できない場合は、受講状況や到達状況についてのハローワークからの照会に本校が回答します。

專門實踐教育訓練明示書

講座の名称		医療専門課程(看護師3年課程)																	
実施方法		① 通学 (昼間・夜間・土日)								② 通信 スクーリング(回数 回)									
指定講座番号		6	9	0	0	4	—	1	6	1	0	0	1	—	0				
講座の創設年月日 昭和50年4月1日		専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和4年3月31日まで							過去一年の講座実績		入講者数(38人)					修了者数 (32人)			
訓練期間		36ヶ月							総訓練時間					3120時間					
1. 教育訓練目標																			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							☒ 業務独占資格・名称独占資格 (看護師) ☐ 職業実践専門課程 () ☐ 専門職学位 () ☐ 職業実践力育成プログラム () ☐ 情報通信技術関係資格 () ☐ 第四次産業革命スキル習得講座 ()												
							教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等												
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							厚生労働省												
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							本校に3年以上在籍し、3120時間を履修し、卒業単位(105単位以上)を修得したことにより卒業が認定されること、かつ保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)21条3項及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和26年8月10日文部省・厚生省令第1号)第4条に基づき、厚生労働大臣が省令で定める科目及び単位を修得すること。												
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							医療施設及び介護事業所における看護師業務、医療業界、介護事業業界において高い需要がある。												
2. 教育訓練の内容 医療専門課程(看護師3年課程)																			
教科 (カリキュラム)									時間			使用教材名							
別紙2「授業科目および単位数」とおり									3,120			別紙3「教材一覧」とおり							
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)																			
①受講するに当たって必要な実務経験等							なし												
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							高等学校卒業もしくは高等学校卒業程度学力認定												
③その他																			

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	32	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	38	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	32	人	受験率(③/②)	84.2	%
④ ③のうち合格者数	32	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	31	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			
			就職・在職率(⑤+⑥/②)	81.5	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		32	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人	②A:就業者計	0
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業	32	人	②B:非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	3	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	32
	2 希望の職種・業界で就職できる	29	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	31	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	32
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	23	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	32
	2 おおむね満足	9	人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

授業科目は「筆記試験」「総合評価」「レポート」のいずれかによる。臨地実習は臨地実習上の自習指導者と協同の実習評価による。レベル到達は書面及び面接により各受講者に伝える。

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法

(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的な基準)	科目毎に講義時間の3分の2以上の出席、各臨地実習毎に5分の4以上の出席、科目毎の試験及び各臨地実習評価において100点満点中60点以上の得点の者に単位を授与する。
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	授業科目は「筆記試験」「総合評価」「レポート」のいずれかによる。臨地実習は到達の判断基準に基づき臨地実習上の自習指導者と教員の協同の実習評価による。
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えない。各科目とも3分の2以上の出席をもって評価を受けることができる。修得すべき全単位を修得したものが卒業(修了)できる。
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「筆記試験」「総合評価」「レポート」により評価する

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラブ担任制度をとり、担任は全員面接を年度初め、試験終了時、実習前後に実施して、個別状況を把握し適宜個別面接と支援を行う。学習状況に応じて小グループまたは個別学習支援を年間を通して実施する。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	1) 各学年毎にキャリアガイダンスを実施。 2) 進路相談窓口担当者の配置(担任、副担任、専門領域担当教員)。 3) インターンシップへの積極的参加の支援。 4) 就職情報の自由閲覧。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	公益社団法人山梨勤労者医療協会	(代表者名: 深沢 真吾)
住所及び連絡先	山梨県甲府市宝1丁目9-1	TEL 055-222-6616
施設名称及び施設長名	共立高等看護学院	(施設長: 内藤 恵一)
住所及び連絡先	山梨県甲府市飯田3丁目1-35	TEL
苦情受付け者	氏名 浅川 雄一 所属 事務長	事務担当者 氏名 豊田 裕子 所属 事務課
連絡先	TEL 055-228-7325	連絡先 TEL 055-228-7325

専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	1,670,000	円
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000	円
① 一括払			
② 分割払		第1期 245,000 円 第2期 245,000 円 第3期 245,000 円 第4期 245,000 円 第5期 245,000 円 第6期 245,000 円 (うち、必須教材費 0 円)	円
③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	319,892	円
	① 任意の教材費(税込額)	169,892	円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③ 施設維持費(税込額)	150,000	円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	1,989,892	円

3年間の授業科目および単位数

授業科目		履修 単位	履修 時間数
基礎分野	科学的思考の基盤		
	物理学	1	30
	哲学	1	30
	統計学	1	30
	社会学	1	30
	人間と生活・社会の理解		
	心理学	1	30
	教育学	1	30
	外国語Ⅰ（英語）	1	30
	外国語Ⅱ（英語）	1	30
	外国語Ⅲ（英語）	1	30
	※ 外国語Ⅳ（スペイン語・中国語・韓国語）	1	20
	※ 芸術（音楽・美術）	1	20
	※ 保健体育Ⅰ（キャンプ・スキー）	1	20
	※ 保健体育Ⅱ（キャンプ・スキー）	1	20
	※ 保健体育Ⅲ（キャンプ・スキー）	1	20
	小 計	14	370
専門基礎分野	人体の構造と機能		
	解剖生理学Ⅰ	2	60
	解剖生理学Ⅱ	2	60
	解剖生理学演習	1	30
	生化学	1	30
	疾病の成り立ちと回復の促進		
	病理学Ⅰ	1	30
	病理学Ⅱ-1 呼吸器疾患 消化器疾患	1	30
	病理学Ⅱ-2 循環器疾患 血液疾患 腎・泌尿器疾患	1	30
	病理学Ⅱ-3 外科的治療 運動器疾患と外科的治療 心臓・脈管系疾患の外科的治療	1	30
	病理学Ⅱ-4 代謝疾患 脳神経疾患 アレルギー・感染症・膠原病	1	30
	微生物学	1	30
	薬理学	1	30
	栄養学	1	30
	リハビリテーション学	1	30
	健康支援と社会保障制度		
	保健医療論Ⅰ	1	15
	保健医療論Ⅱ	1	15
	公衆衛生学	2	30
	社会福祉 講義15時間 演習30時間	2	45
	小 計	21	555

授業科目			履修 単位	履修 時間数
専門分野 Ⅰ	基礎看護学			
	看護学概論Ⅰ	看護理論	2	45
	看護学概論Ⅱ		1	20
	看護学概論Ⅲ	ヒューマンケアの基本的な能力の形成	1	30
	基礎看護技術Ⅰ	①技術 ②コミュニケーション	2	60
	基礎看護技術Ⅱ-1	①環境 ②清潔 ③運動・活動・休息、ボディメカニクス	2	60
	基礎看護技術Ⅱ-2	①食事 ②排泄	1	30
	基礎看護技術Ⅲ	①フィジカルアセスメント ②バイタルサイン ③観察・記録・報告、	1	20
	基礎看護技術Ⅳ	①与薬	1	20
	基礎看護技術Ⅴ	①感染予防②身体侵襲に影響する援助③検査・処置介助	1	30
	基礎看護技術Ⅵ-1	看護過程総論	1	15
	基礎看護技術Ⅵ-2	看護過程各論	1	15
	基礎看護技術Ⅶ	看護情報学	1	15
	臨地実習			
	基礎看護学実習Ⅰ-1・2		2	90
	基礎看護学実習Ⅱ		1	45
小 計			18	495
専門分野 Ⅱ	成人看護学			
	成人看護総論Ⅰ		1	30
	成人看護総論Ⅱ		1	15
	成人看護総論Ⅲ		1	30
	成人臨床看護Ⅰ	臨床検査 放射線医学	1	30
	成人臨床看護Ⅱ	呼吸器疾患看護 消化器疾患看護 循環器疾患看護	1	30
	成人臨床看護Ⅲ	内分泌疾患看護 脳神経疾患看護 血液疾患看護 腎疾患看護	1	30
	成人臨床看護Ⅳ	外科看護 運動器疾患看護 周手術期看護	1	30
	老年看護学			
	老年看護総論Ⅰ		2	30
	老年看護総論Ⅱ		1	30
	老年臨床看護		1	30
	小児看護学			
	小児看護総論Ⅰ		1	15
	小児看護総論Ⅱ		1	30
	小児臨床看護Ⅰ		1	30
	小児臨床看護Ⅱ		1	30
	母性看護学			
	母性看護総論Ⅰ		1	15
	母性看護総論Ⅱ		1	30
	母性臨床看護Ⅰ		1	30
	母性臨床看護Ⅱ		1	30

授業科目		履修 単位	履修 時間数
専門 分野 Ⅱ	精神看護学		
	精神保健Ⅰ	1	15
	精神保健Ⅱ	1	30
	精神臨床看護Ⅰ	1	30
	精神臨床看護Ⅱ	1	30
	臨地実習		
	成人看護学実習Ⅰ	2	90
	成人看護学実習Ⅱ	2	90
	成人看護学実習Ⅲ	2	90
	老年看護学実習Ⅰ	2	90
	老年看護学実習Ⅱ	2	90
	小児看護学実習	2	90
	母性看護学実習	2	90
	精神看護学実習	2	90
小 計		39	1320
統合 分野	在宅看護論		
	地域看護総論Ⅰ	1	15
	地域看護総論Ⅱ	1	30
	地域看護活動論Ⅰ	1	30
	地域看護活動論Ⅱ	1	30
	看護の統合と実践		
	看護管理学	1	20
	国際看護学 災害看護学	1	15
	医療安全	1	15
	看護研究	1	30
	看護技術演習	1	15
	臨地実習		
	地域看護学実習	2	90
	統合実習	2	90
小 計		13	380
合計		105	3120

※選択必須科目 各科目 一つ選択

外国語Ⅳ : ・スペイン語 ・中国語 ・韓国語

芸術 : ・美術 ・音楽

保健体育 : ・キャンプ ・スキー

専門実践教育訓練実施状況調査票(訓練経費内訳票)

施設の名称	共立高等看護学院	指定講座番号 [所指定・変更名置換えのみ]	690041610010
講座の名称	医療専門課程(看護師3年課程)	移行前指定講座番号 [専門実践教育訓練への移行希望のみ]	
		専門様式第1号の仮番号	4001

4. 教材費の内訳

区分	教材名	著者・出版社・メーカー等	価格(税込)
☐ 必須 / ☐ 任意	新訂 目でみるからだのメカニズム	境章・医学書院	2786 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 老年看護学[第8版]	北川公子他・医学書院	2508 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 老年看護 病態・疾病論[第4版]	佐々木英忠他・医学書院	2136 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 臨床外科看護概論[第10版]	矢永勝彦他・医学書院	2601 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 臨床外科看護各論[第8版]	青木克憲他・医学書院	2972 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 成人看護学[10]運動器[第13版]	織田弘美他・医学書院	2229 円
☐ 必須 / ☐ 任意	クリスティーンのやさしい看護英会話	知念クリスティーン・医学書院	1672 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護技術 I [第16版]	有田清子他・医学書院	2415 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術 II [第16版]	有田清子他・医学書院	2694 円
☐ 必須 / ☐ 任意	ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2) [第2版]	松下由美子他・メディカ出版	2786 円
☐ 必須 / ☐ 任意	ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障② [第4版]	島田美喜・メディカ出版	2972 円
☐ 必須 / ☐ 任意	ナーシング・グラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア[第5版]	梶井尚子他・メディカ出版	3158 円
☐ 必須 / ☐ 任意	看護課程に沿った対症看護[第4版]	高木永子監修・学研	3901 円
☐ 必須 / ☐ 任意	看護に必要なやりなおし数学・物理	時政孝行・照林社	1486 円
☐ 必須 / ☐ 任意	新体系看護学講座 健康支援と社会保障制度 ① 現代医療論[第3版]	小坂樹徳他・メディカルフレンド社	2415 円
☐ 必須 / ☐ 任意	看護技術プラクティス[第3版]	竹尾恵子監修・学研	4830 円
☐ 必須 / ☐ 任意	フィジカルアセスメントガイドブック[第2版]	山内豊明・医学書院	2229 円
☐ 必須 / ☐ 任意	看護覚え書[第7版]	ナイチンゲール・現代社	1579 円
☐ 必須 / ☐ 任意	はじめての看護理論	勝又正直・医学書院	2415 円
必須の教材費の合計額 (専門様式第3号(1/2)1. (3)の合計欄と同額になること)			円
任意の教材費の合計額 (専門様式第3号(1/2)1. (7)の合計欄と同額になること)			円

※ 欄が不足する場合は本票をコピーして使用し、最終ページに合計額を記載してください。

専門実践教育訓練実施状況調査票(訓練経費内訳票)

施設の名称	共立高等看護学院	指定講座番号 【所指定・変更希望地区のみ】	690041610010
講座の名称	医療専門課程(看護師3年課程)	移行前指定講座番号 【専門実践教育訓練への移行希望のみ】	
		専門様式第1号の仮番号	4001

4. 教材費の内訳

区分	教材名	著者・出版社・メーカー等	価格(税込)
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論[第12版]	森恵美他・医学書院	2786 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 成人看護学[11]アレルギー、膠原病、感染症[第13版]	岩田健太郎他・医学書院	2043 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 成人看護学[9]女性生殖器[第13版]	池田正他・医学書院	2136 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 小児看護学[2]小児臨床看護各論[第13版]	奈良岡美保他・医学書院	3065 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 別巻 栄養食事療法[第3版]	足立香代子他・医学書院	1672 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 別巻 がん看護学[第2版]	小松浩子・医学書院	2043 円
☐ 必須 / ☐ 任意	周手術期看護論[第3版]	雄西智恵美他編集・HIROKAWA	2229 円
☐ 必須 / ☐ 任意	精神看護学 I 精神看護学概論、精神保健	岩崎弥生・メヂカルフレンド社	2136 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 別巻 看護研究	坂下玲子・医学書院	2229 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 別巻 看護情報学	中山和弘他・医学書院	2322 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎[第4版]	武井麻子他・医学書院	2043 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 精神看護学[2] 精神看護の展開[第4版]	武井麻子他・医学書院	2136 円
☐ 必須 / ☐ 任意	明日をひらく社会保障	全日本民医連出版会	1000 円
☐ 必須 / ☐ 任意	ナースの統計学	小宮要他・パワー社	1115 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 基礎分野 社会学[第6版]	石川ひろの他・医学書院	1672 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 看護の統合と実践[1]看護管理[第9版]	上泉和子他・医学書院	2322 円
☐ 必須 / ☐ 任意	系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論	茂野香おる他・医学書院	2229 円
☐ 必須 / ☐ 任意	ナーシング・グラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア[第5版]	森有桂・メディカ出版	2972 円
☐ 必須 / ☐ 任意	実習用ユニフォーム	中山ユニフォーム(山梨県甲府市中央4丁目1-26)	40258 円
必須の教材費の合計額 (専門様式第3号(1/2)1. (3)の合計欄と同額になること)			円
任意の教材費の合計額 (専門様式第3号(1/2)1. (7)の合計欄と同額になること)			#REF! 円

※ 欄が不足する場合は本票をコピーして使用し、最終ページに合計額を記載してください。

教材一覧 (教科書は変わることがあります)

リハビリテーション看護論[第2版]	中西純子他編集・HIRIKAWA
系統看護学講座疾病のなり立ちと回復の促進[1]病理学[第5版]	大橋健一他・医学書院
系統看護学講座疾病のなり立ちと回復の促進[2]病態生理学[第2版]	田中越郎・医学書院
系統看護学講座疾病のなり立ちと回復の促進[3]薬理学[第13版]	広岡充弘他・医学書院
系統看護学講座疾病のなり立ちと回復の促進[4]微生物学[第12版]	南嶋洋一他・医学書院
系統看護学講座 人体の構造と機能[1]解剖生理学 [第9版]	坂井健雄他・医学書院
系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学[第8版]	福田国彦他・医学書院
系統看護学講座 別巻 臨床検査[第7版]	奈良信雄・医学書院
検査値の読み方・考え方[ポケットブック]	西崎純他編集・総合医学社
系統看護学講座 母性看護学概論[第12版]	森恵美他・医学書院
系統看護学講座 小児看護学概論/小児臨床看護総論[2015年改訂]	奈良間美保他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器[第14版]	浅野浩一郎他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[3]循環器[第14版]	吉田俊子他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[4]血液・造血器	飯野京子他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[5]消化器[第14版]	松田明子他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝	黒江ゆり子他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[7]脳・神経[第13版]	井手隆文他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器	大東貴志他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[1]成人看護学総論[第14版]	小松浩子他・医学書院
新訂 目でみるからだのメカニズム	境章・医学書院
系統看護学講座 老年看護学[第8版]	北川公子他・医学書院
系統看護学講座 老年看護 病態・疾病論[第4版]	佐々木英忠他・医学書院
系統看護学講座 臨床外科看護概論[第10版]	矢永勝彦他・医学書院
系統看護学講座 臨床外科看護各論[第8版]	青木克憲他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[10]運動器[第13版]	織田弘美他・医学書院
クリスティーンのやさしい看護英会話	知念クリスティーン・医学書院
系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ[第16版]	有田清子他・医学書院
系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ[第16版]	有田清子他・医学書院
ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2)	松下由美子他・メディカ出版
ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障②[第4版]	島田美喜・メディカ出版
ナーシング・グラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア[第5版]	櫻井尚子他・メディカ出版
看護課程に沿った対応看護[第4版]	高木永子監修・学研
看護に必要なやりなおし数学・物理	時政孝行・照林社
新体系看護学講座 健康支援と社会保障制度① 現代医療論[第3版]	小坂樹徳他・メディカルフレンド社
看護技術プラクティス[第3版]	竹尾恵子監修・学研
フィジカルアセスメントガイドブック[第2版]	山内豊明・医学書院
看護覚え書[第7版]	ナイチンゲール・現代社
はじめての看護理論	勝又正直・医学書院
系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論[第12版]	森恵美他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[11]アレルギー、膠原病、感染症	岩田健太郎他・医学書院
系統看護学講座 成人看護学[9]女性生殖器[第13版]	池田正他・医学書院
系統看護学講座 小児看護学[2]小児臨床看護各論[第13版]	奈良間美保他・医学書院
系統看護学講座 別巻 栄養食事療法[第3版]	足立香代子他・医学書院
系統看護学講座 別巻 がん看護学[第2版]	小松浩子・医学書院
周手術期看護論[第3版]	雄西智恵美他編集・HIROKAWA
精神看護学Ⅰ 精神看護学概論、精神保健	岩崎弥生・メディカルフレンド社
系統看護学講座 別巻 看護研究	坂下玲子・医学書院
系統看護学講座 別巻 看護情報学	中山和弘他・医学書院
系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎[第4版]	武井麻子他・医学書院
系統看護学講座 精神看護学[2] 精神看護の展開[第4版]	武井麻子他・医学書院
明日をひらく社会保障	全日本民医連出版会
ナースの統計学	小宮要他・パワー社
系統看護学講座 基礎分野 社会学[第6版]	石川ひろの他・医学書院
系統看護学講座 看護の統合と実践[1]看護管理[第9版]	上泉和子他・医学書院
系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論	茂野香おる他・医学書院
ナーシング・グラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア[第5版]	森有桂・メディカ出版
実習用ユニフォーム	

合計1約170,000円